

process

1

学習用パソコンのモデルを選ぶ

A

生協推奨

携帯型パソコン必携化対応

スタンダード

4年間の学びを支える新大生のスタンダード

Panasonic
Let's note CF-SC6

2026年度最新
大学生協オリジナルモデル



※カラーはカムグレイとなります

Advice

大学での学びは
Windows 11 Pro 搭載パソコンがより良いです

OS	CPU	メモリ/ストレージ
Windows 11 Pro	Intel® Core™ Ultra 5	メモリ 16GB SSD 512GB
ディスプレイ	バッテリー	サイズ(mm)/重量
12.4インチ FHD+(1,920×1,280)	約12.7時間(動画再生時) 約34.6時間(アイドル時) JEITA3.0	W273.2×D208.9×H19.9(mm) 約919g
主なインターフェース		
USB3.0ポート×2 USB3.1 Type-Cポート×2(Thunderbolt™ 4対応、USB PD対応) HDMI×1 顔認証対応IRカメラ×1 ヘッドセット端子		

- このような方に適しています
- 毎日の持ち運びや長時間利用でも安心して使いたい方
 - 情報整理や発想の補助にAIを活用し、学びを深めたい方
 - 大学院進学含め、卒業以降の使用も見据えたい方
- 新潟大学で最も多く使われている
パソコンが Let's note です

充電できる場所が限られるので、
電池持ちがいいのが助かります

理学部 4年生 Nさん

ゼミ資料作成や研究データの解析などに使っています。その他、英語の論文の翻訳補助や生成AIによる基礎知識の確認等にも使用しています。実験と並行してデータの解析作業を行うため、作業時間も1〜3年の頃と比較して長くなっていると思います。充電器の持ち運びは欠かせませんが、生協パソコン以外のパソコンを使っている友人と比較するとバッテリーの持ちがかなり長く助かっています。



院進しても一緒に使える

学部4年+院2年の計6年間、レッツノートを使いました。授業・レポート・演習・発表づくりまで幅広く使いましたが、不自由を感じたことはほとんどありません。周囲では「重い」「電池がもたない」で困る友人を何度も見ましたが、私の機種はバッテリーが驚くほど長持ち。いざという時は生協に持ち込めば、「裏技」頼みではない確かな対応で助けてもらえ、最終防衛線として心強かったです。大学は「習う」から「自分で考える」へ進む場所。研究や論文に向き合うほど、忙しい中でも作業を止めない頼れるパソコンだと実感しました。もう一度選ぶとしても、私は迷わずこのレッツノートを選びます。



大学院自然科学研究科
卒業生 Sさん

新大生に最適な理由

学びに最適な携帯性と実用性

01

軽量で持ち運びやすく、
必要な端子も充実



自宅から1時間かけて
通学するので、軽いと楽!
リュックに入れるのにも
ちょうどいい大きさ

1,000g
くらいが目安!

約919g

必要十分な機能・装備

授業や発表で使う機器にも、
幅広く対応。新大の学びに
必要な端子を装備



コンパクトかつ見やすい画面

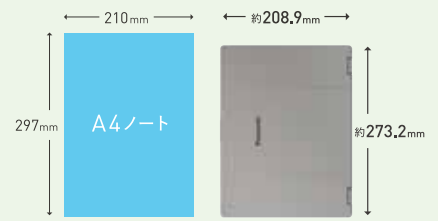
02

毎日の持ち運びにベストなサイズ感
効率よく使える画面

一般的なPC	SR
12.5型 16:9	12.4型 3:2

表示領域が縦に約2cm広い

A4ノートよりコンパクトで持ち運びも◎



学びを快適にする性能・機能

03

最新のAIアシスタント機能に対応

レポート作成や
発表準備をAIが
効率的にサポート

- 資料要約
- データ分析
- 発表構成の提案
- プログラミング補助



長時間使用する新大生の実態を考慮し、
性能が下がりにくい設計を重視

新潟大学で必要な性能とマルチコア処理能力を重視し、
Arrow Lake CPU搭載機を選定しています。

自身で交換可能なバッテリー

04

バッテリー交換ができるから、
より長く使える



大学院・医学部での
長期間の使用にも考慮



パソコンのバッテリーは消耗品です。
機種問わず、使用年数と共に性能が低下します。
※通常は工場での交換が必要です。